

①小学探検 ②小学校プレート	(2) 小学校との連携・交流
私立幼稚園	学校法人荻原学園 スガハラ幼稚園
<実施時期>	11月頃から3月卒園まで
<幼児期の終わりまでに育って欲しい姿に繋がる部分>	
「自立心」「道徳的、規範意識の芽生え」「社会生活との関わり」、「思考力の芽生え」「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」「言葉による伝え合い」	
<活動のきっかけ>	
① 毎年行われている小学校訪問や、家庭での進学準備、また就学児健診の話等から、子ども達が進学に向けての関心を持ち始めたと感じられたため。	
② 今年度は進学先が9校に別れる為、「どこの小学校に行くの？」等の会話をする姿が見られたため。	
<活動のねらい>	
① 小学校訪問：入学への不安解消を図り、よりよい小学校生活のスタートを切れるようにする。(受け入れ先小学校からの提案)	
② 掲示：自分や友だちの進学先を知り、小学校に興味関心を持ち、進学に期待を持つ。	
<経験する内容>	
① 小学校探検は、昇降口から入り、低学年の教室を廊下から見学して、職員室前を通り、校長室で校長先生のお話を聞く。昇降口や廊下の使い方や、トイレの場所を教えてもらう。	
② 今年度の進学先は9校に分散し、進学先が学校探検をした小学校ではない子どもたちもいた為、各学校のプレートを作り進学する子どもの名前を下に付け加えて、興味・関心が持てるようにする。	
<新型コロナウイルス感染症に対する活動の工夫>	
① 例年では近隣の小学校の1年生が体育館で催し物を企画し招待してくれるが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となる。その後、小学校から学校探検という提案を頂き、1クラスずつ訪問し、2回に分散して教務主任の先生に校内を案内していただいた。	
② 友だちと一緒に掲示物を見る時など、密にならないように横一列に掲示するなどの配慮をした。	
<活動の内容>	
① 小学校へは園バスを使い、密を避けるため2グループにわかれて分散して行く。昇降口から入り、低学年の教室を廊下から見学、トイレや廊下の使い方を教えてもらい、最後は職員室から校長室に入室させてもらって校長先生から声をかけていただき終了となった。	
② 進学先の正門と校舎やグラウンドの写真を1枚にまとめ、その下に進学する子どもの名前を貼り、誰がどこの学校へ行くのかわかるように掲示した。	

<p>＜活動でみられた子どもの姿＞</p>	<p>＜環境構成・教材や保育者の援助等＞</p>
<p>① 期待で気持ちが昂るものの、到着すると緊張の色もうかがえた。小学校の大きさや、校内の広さに驚きながらも、興味をもって話をよく聞いていた。卒園児が席について授業に参加している姿を見つけ、親近感を持ち、尊敬のまなざしで見つめていた。授業中ということもあり、校内では声出すことはなかったが、帰りのバスでは「楽しかった！」「おおきかった！」「早く学校行きたい！」などの声が聞かれた。</p> <p>② 見学させていただいた学校以外にも小学校があることを知り、自分の進学先の写真を嬉しそうに見ながら「〇〇ちゃんはどこへいくの？ぼくは、□□しょうがっこうだよ。」と、小学校に対する興味や関心がうかがえた。</p>	<p>① 小学校では、いろいろなものを観察していた。引率者は、子どもたちが気づいていないことなどの声掛けをしながら、様々な事に興味や関心が持てるように声をかけたり、表情から心情を読み取り、不安を感じているようであれば手をつないだりして一緒にまわった。</p>  <p>② 進学先の正門、校舎、グラウンドなどの写真を1枚のプレートにまとめ、その下に進学する子どもの名札を付けて掲示することで、関心や期待を持てるようにした。</p> 
<p>＜成果と今後の課題＞</p>	
<p>① 毎年行われている1年生による催し物に招待してもらった時は体育館のみの参加だったが、今回は、自分たちが学校生活を送る場所を実際に見せていただけたことで、小学校がより身近なものに感じられたようだった。</p> <p>② 進学先の掲示は、園バスのルートなども書き込んで各学校の位置関係を地図に表すとイメージしやすくなる感じた。</p>	
<p>＜カリキュラムコーディネーターのコメント＞</p>	
<p>小学校との連携・接続はその内容はもちろんですが、実施時期やタイミングを考慮することは大変重要です。園では子ども達の興味・関心に基づいて計画を立て、小学校訪問を実施しています。さらに、得た経験をその時だけで終わることがないように、写真等をもちいて視覚的に掲示にしています。自分だけでなく友達の見学先の小学校にも目を向けることができる活動は、仲間への思いを再確認することができて卒園に向けての意識も高まると思います。</p>	